

Ⅱ 調査結果の概要

II 調査結果の概要

1 人口・世帯

●人口・世帯数

本市の平成27年10月1日現在の人口は195,633人で、県内23市中4位であった。前回より3.3%減、6,671人の減少となった。

第1表 国勢調査人口及び世帯数の推移

年次	世帯数	人 口		
		総 数	男	女
	世帯	人	人	人
大正 9年	3,760	20,993	9,852	11,141
14年	6,977	38,042	18,337	19,705
昭和 5年	8,003	42,454	20,769	21,685
10年	8,869	49,279	23,518	25,761
15年	9,772	53,165	24,988	28,177
22年	18,356	92,671	44,828	47,843
25年	19,815	101,976	49,438	52,538
30年	24,773	129,287	63,258	66,029
35年	30,521	142,609	70,373	72,236
40年	38,604	159,880	79,613	80,267
45年	49,536	189,038	93,944	95,094
50年	56,135	199,325	99,269	100,056
55年	61,674	203,695	101,126	102,569
60年	66,085	210,490	104,656	105,834
平成 2年	69,531	211,732	105,056	106,676
7年	74,001	212,241	105,572	106,669
12年	76,204	207,558	102,704	104,854
17年	79,151	208,005	102,259	105,746
22年	79,616	202,304	99,184	103,120
27年	80,798	195,633	95,980	99,653

(注) 各年とも当時の市(町)域による。

大正12年7月1日 沼津町、楊原村合併

昭和19年4月1日 片浜村、金岡村、大岡村、静浦村合併

昭和30年4月1日 愛鷹村、大平村、内浦村、西浦村合併

昭和43年4月1日 原町合併

平成17年4月1日 戸田村合併

●人口集中地区

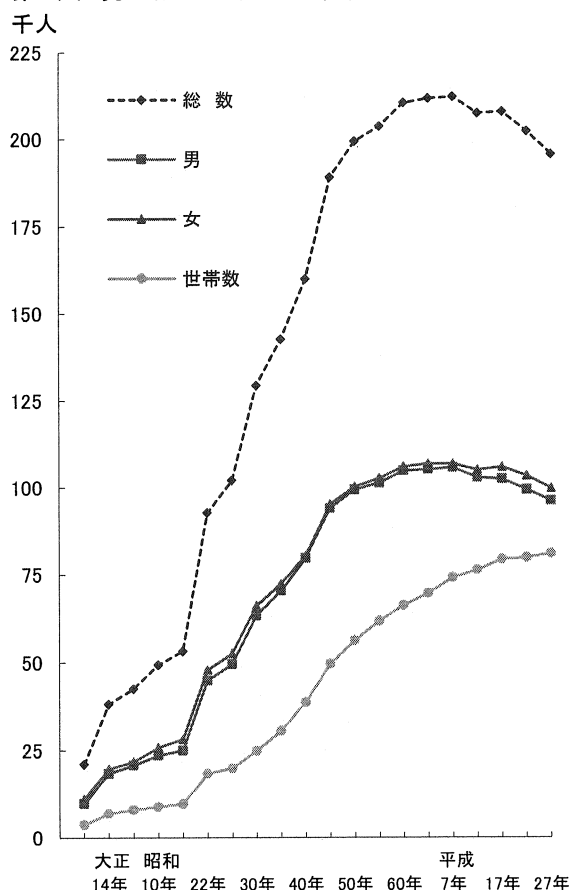
人口集中地区人口は164,605人で、平成22年に比べ1,559人減少した。人口集中地区面積は31.8km²で、平成22年に比べ1.9km²増加した。

(注) 人口集中地区とは、原則として人口密度が1km²あたり4,000人以上の基本単位区等が市区町村の境内で互いに隣接し、それらの隣接した地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有する地域のことである。

第2表 人口集中地区人口・面積

年次	総人口	総面積	人口集中地区			総数に対する割合	
			人口	面積	人口密度	人口	面積
	人	km ²	人	km ²	人/km ²	%	%
平成 7年	212,241	152.15	177,229	29.8	5,951	83.5	19.6
12年	207,558	152.17	173,401	30.0	5,786	83.5	19.7
17年	208,005	187.10	170,655	29.8	5,719	82.0	15.9
22年	202,304	187.12	166,164	29.9	5,557	82.1	16.0
27年	195,633	186.96	164,605	31.8	5,181	84.1	17.0

第1図 男女別人口及び世帯数の推移



●年齢構成

人口構成を5歳階級別にみると、最も多い階級は65歳～69歳で、構成比としては8.3%を占めている。次いで、40歳～44歳が7.7%、さらに、45歳～49歳が7.2%と続いている。第2次ベビーブーム以降、出生率の低下傾向に伴い、人口ピラミッドの底辺部分が細くなっている特徴がみられる。

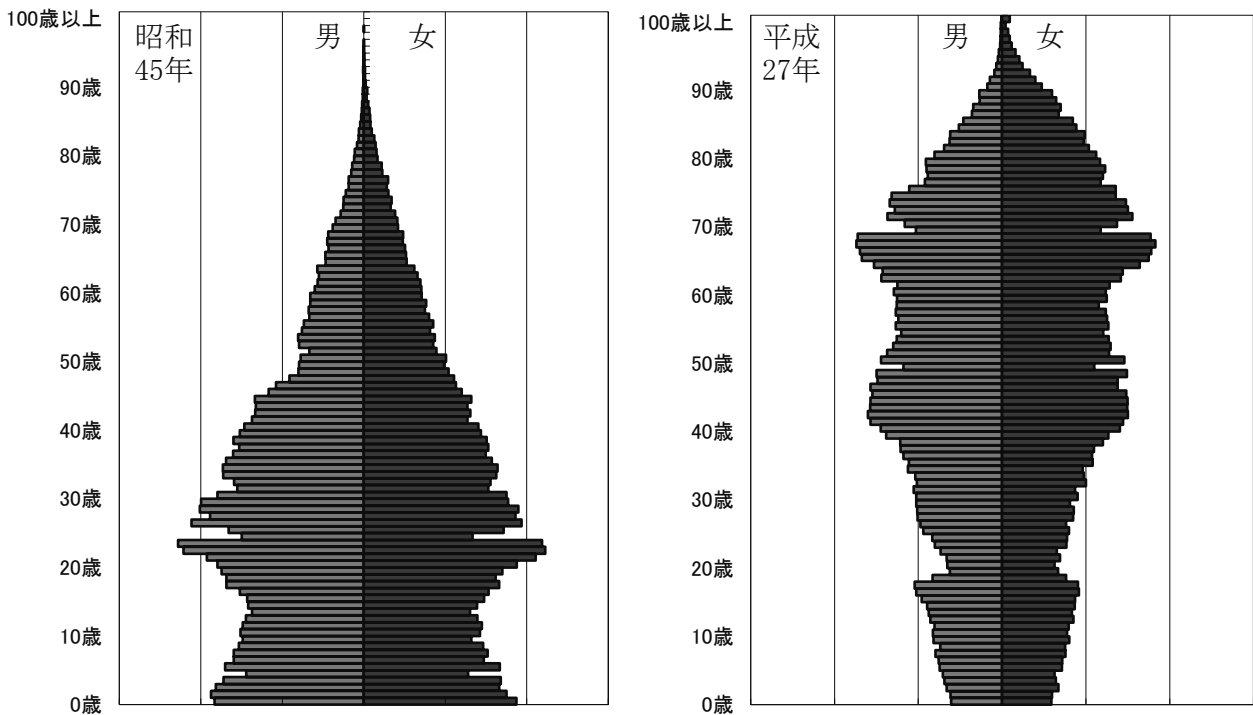
第3表 年齢(5歳階級)別男女別人口

(単位：人)

年 齢 (5歳階級)	昭 和 45 年		平 成 27 年		年 齢 (5歳階級)	昭 和 45 年		平 成 27 年	
	男	女	男	女		男	女	男	女
総数 1)	93,944	95,094	95,980	99,653	50～54	3,800	4,437	6,574	6,508
0～4	8,689	8,248	3,282	3,126	55～59	3,393	3,876	6,282	6,165
5～9	7,912	7,449	3,851	3,745	60～64	2,760	3,204	6,940	7,019
10～14	7,238	6,960	4,261	4,124	65～69	2,174	2,406	7,862	8,310
15～19	8,065	7,989	4,478	4,124	70～74	1,348	1,771	6,470	7,264
20～24	9,710	9,738	3,685	3,511	75～79	783	1,195	4,727	6,137
25～29	9,669	9,179	4,961	4,074	80～84	364	607	3,263	5,001
30～34	8,396	8,099	5,253	4,709	85～89	102	277	1,707	3,457
35～39	7,940	7,543	6,095	5,721	90～94	21	68	531	1,654
40～44	6,827	6,578	7,768	7,341	95～99	2	7	112	480
45～49	4,751	5,463	7,283	6,829	100歳以上	-	-	9	92

1) 「不詳」を含む。

第2図 人口ピラミッド

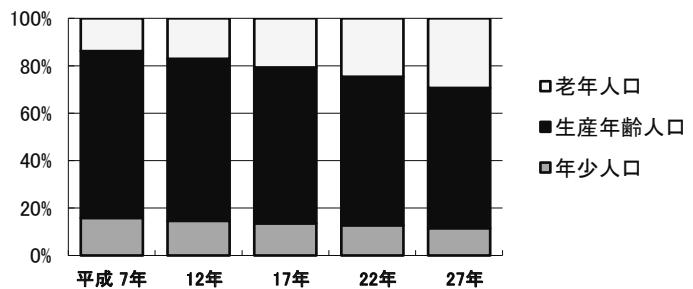


●年齢(3区分)別人口

年齢を年少人口(0歳～14歳)、生産年齢人口(15歳～64歳)、老年人口(65歳以上)の3区分別に分け、その構成比をみると、年少人口および生産年齢人口は引き続き減少の傾向がみられた。

平成27年の老年人口は全体の29.3%となっており、前回に比べ4.7ポイント上昇した。

第3図 年齢区分別構成割合



第4表 年齢区分別人口

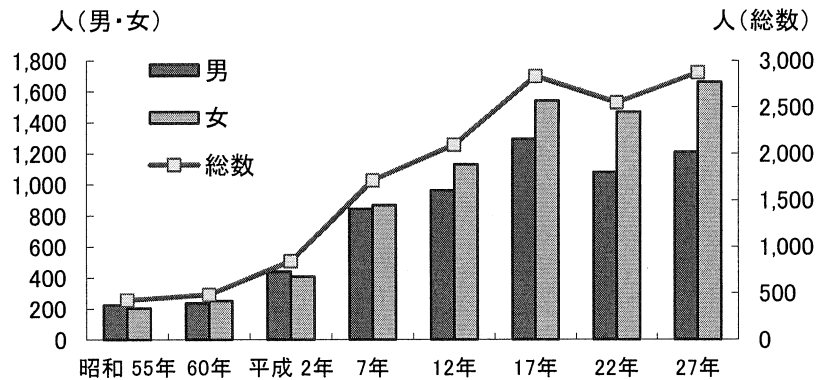
区分	総数 1)	0歳～14歳		15歳～64歳		65歳以上	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
平成 7年	212,241	33,646	15.9	149,137	70.3	29,458	13.9
12年	207,531	30,393	14.6	141,787	68.3	35,351	17.0
17年	208,000	28,224	13.6	136,574	65.7	43,202	20.8
22年	202,221	25,911	12.8	126,489	62.5	49,821	24.6
27年	194,785	22,389	11.5	115,320	59.2	57,076	29.3

1) 年齢不詳を除く。

●外国人

外国人は総数2,872人で、平成22年調査時より約1割増となった。国籍別にみると、フィリピンが851人と最も多く、次いで、中国の563人、韓国・朝鮮の352人、ペルーの180人の順になっている。また、本市人口に占める外国人比率は約1.5%となった。

第4図 男女別外国人人数
人(男・女)



第5表 国籍別外国人人数

年次	総数 1)	韓国・朝鮮	中国	東南アジア・南アジア				イギリス	アメリカ	ブラジル	ペルー	その他
				総数	フィリピン	タイ	その他					
平成 7年	1,711	355	149	449	235	143	71	8	47	385	224	93
12年	2,094	403	294	663	377	181	105	10	55	292	256	113
17年	2,834	376	683	774	580	124	70	9	58	283	323	328
22年	2,549	336	617	802	598	108	96	18	49	188	240	299
27年	2,872	352	563	1,155	851	120	184	12	67	158	180	385

1) 「無国籍」及び「国名不詳」を含む。

●配偶関係

15歳以上人口を配偶関係別にみると、男性では未婚者が26,051人(31.0%)、有配偶者が48,901人(58.2%)、死別者が2,913人(3.5%)、離別者が4,139人(4.9%)となっている。

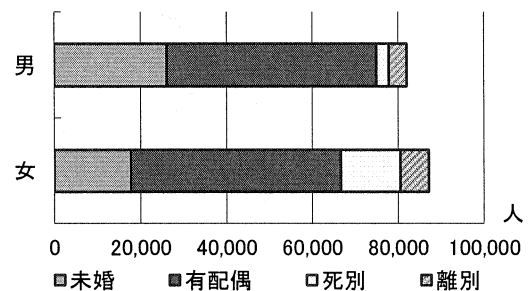
女性では未婚者が17,733人(20.1%)、有配偶者が48,941人(55.4%)、死別者が13,876人(15.7%)、離別者が6,584人(7.4%)となっており、男性に比べると、死別者の割合が大きくなっている。

第6表 男女別配偶関係別人口(15歳以上) (単位:人)

年次	総数 1)	未婚	有配偶	死別	離別	
男	7年	88,234	28,460	55,192	2,109	2,359
	12年	87,021	27,158	54,373	2,283	2,950
	17年	87,904	26,961	54,189	2,725	3,496
	22年	85,913	26,736	51,850	2,844	3,997
	27年	84,000	26,051	48,901	2,913	4,139
女	7年	90,361	20,007	54,871	11,378	4,000
	12年	90,117	19,046	54,042	11,942	4,817
	17年	91,872	18,592	53,983	13,362	5,649
	22年	90,397	18,105	51,745	13,678	6,368
	27年	88,396	17,733	48,941	13,876	6,584

1) 総数は配偶関係「不詳」を含む。

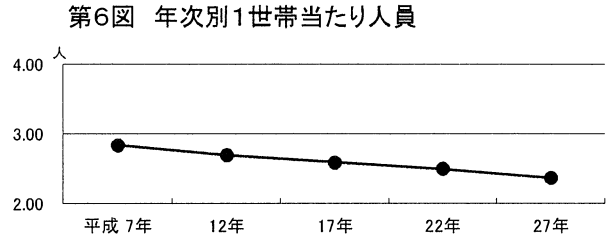
第5図 男女別配偶関係別人口
(15歳以上)



●世帯人員

一般世帯数は80,661世帯で、世帯人員は191,357人であった。

1世帯当たりの人員は2.37人で、前回調査の2.50人より減少、また、県平均2.54人を下回る結果となった。



●家族類型

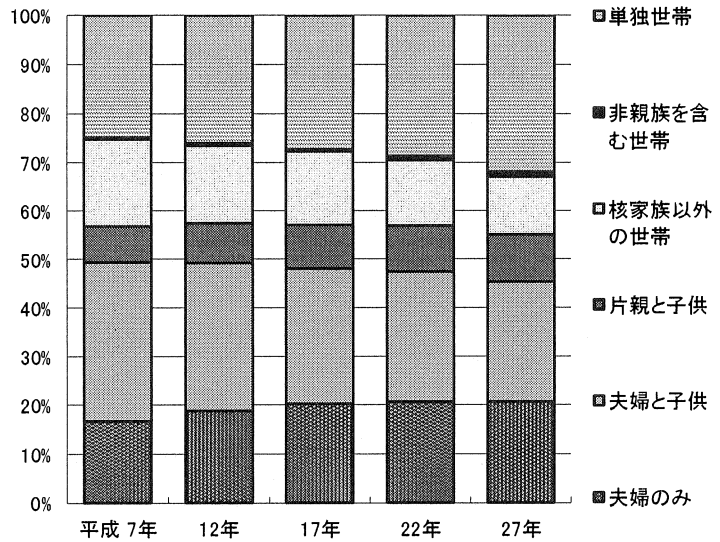
一般世帯の家族類型別をみると、親族のみの世帯54,012世帯(67.0%)、単独世帯25,730世帯(31.9%)、非親族を含む世帯884世帯(1.1%)となっている。

親族世帯のうちでは、核家族世帯が44,509世帯(55.2%)、核家族以外の世帯が9,503世帯(11.8%)となっている。

核家族世帯のうちでは、夫婦と子供世帯が19,830世帯(24.6%)と最も多く、次いで、夫婦のみ世帯16,667世帯(20.7%)、片親と子供世帯8,012世帯(9.9%)となっている。

平成7年以降の推移をみると、夫婦と子供世帯の割合が減少傾向にある一方、夫婦のみ世帯、片親と子供世帯、および単独世帯はいずれも増加傾向にある。

第7図 一般世帯の家族類型別割合の推移



第7表 家族類型別一般世帯数

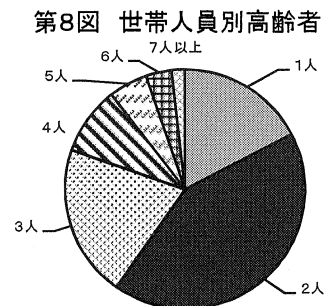
区分	一般世帯数 1)	構成比	親族のみの世帯									非親族を含む世帯 3)	構成比	単独世帯	構成比	
			核家族世帯						核家族以外の世帯 2)							
			総数	構成比	夫婦のみ	構成比	夫婦と子供	構成比	片親と子供	構成比	世帯					構成比
7年	73,943	100	42,060	56.9	12,330	16.7	24,159	32.7	5,571	7.5	13,213	17.9	242	0.3	18,428	24.9
12年	76,117	100	43,782	57.5	14,422	18.9	23,143	30.4	6,217	8.2	12,154	16.0	347	0.5	19,834	26.1
17年	79,045	100	45,174	57.1	15,960	20.2	22,102	27.9	7,112	9.0	11,979	15.2	343	0.4	21,549	27.3
22年	79,515	100	45,294	57.0	16,395	20.6	21,306	26.8	7,593	9.5	10,652	13.4	792	1.0	22,775	28.6
27年	80,661	100	44,509	55.2	16,667	20.7	19,830	24.6	8,012	9.9	9,503	11.8	884	1.1	25,730	31.9

1) 「不詳」を含む 2) 平成17年以前は「その他の親族世帯」 3) 平成17年以前は「非親族世帯」

●高齢者

65歳以上の世帯員がいる一般世帯は37,237世帯で、平成22年と比べ3,979世帯、12.0%増加している。

65歳以上の世帯員がいる一般世帯を世帯人員別でみると、世帯人員が2人の世帯が最も多かった。



第8表 世帯人員別65歳以上世帯員のいる一般世帯数、一般世帯人員及び65歳以上世帯人員

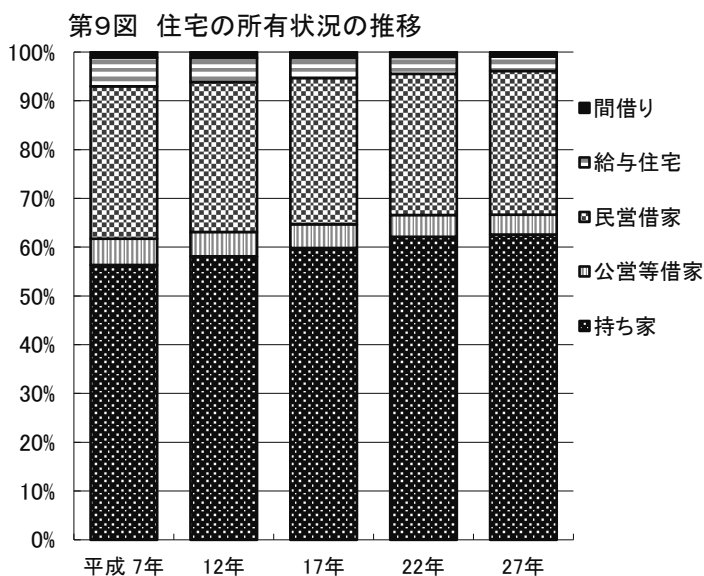
区分	総数	世帯人員が						
		1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上
一般世帯数	37,237	9,365	14,188	6,870	3,248	1,927	1,101	538
一般世帯人員	91,493	9,365	28,376	20,610	12,992	9,635	6,606	3,909
65歳以上世帯人員	53,818	9,365	22,770	11,086	4,958	2,822	1,867	950

2 住居の関係

●住宅の所有関係

住宅に住む一般世帯数を住宅の所有の関係別にみると、持ち家が49,706世帯(62.6%)で最も多くなっている。

次いで、民営借家が23,390世帯(29.5%)、公営や都市再生機構・公社の借家である公営等借家が3,265世帯(4.1%)、給与住宅が2,342世帯(2.9%)、間借りが709世帯(0.9%)となっている。



第9表 住宅に住む一般世帯の住宅の所有状況

区 分	世						帯					
	総 数	構成比	持ち家	構成比	公営等借家	構成比	民 営 借 家	構成比	給 与 住 宅	構成比	間 借 り	構成比
		%		%		%		%		%		%
平成 7年	71,914	100	40,491	56.3	3,902	5.4	22,463	31.2	4,246	5.9	812	1.1
12年	74,747	100	43,439	58.1	3,745	5.0	22,935	30.7	3,759	5.0	869	1.2
17年	77,592	100	46,433	59.8	3,780	4.9	23,313	30.0	3,168	4.1	898	1.2
22年	78,125	100	48,530	62.1	3,517	4.5	22,574	28.9	2,738	3.5	766	1.0
27年	79,412	100	49,706	62.6	3,265	4.1	23,390	29.5	2,342	2.9	709	0.9

●住宅の建て方

住宅の建て方別に住宅に住む一般世帯数をみると、一戸建に住む世帯数は46,228世帯で、全体の58.2%を占めて最も多いが、割合は前回から減少した。一方、共同住宅に住む世帯数、特に6階建て以上の中高層住宅に住む世帯数の割合が増加傾向にある。

第10表 住宅の建て方別住宅に住む一般世帯数

区 分	平成12年		平成17年		平成22年		平成27年	
	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比	世帯数	構成比
		%		%		%		%
総 数	74,747	100	77,592	100	78,125	100	79,412	100
一 戸 建	44,602	59.7	45,970	59.2	46,321	59.3	46,228	58.2
長 屋 建	1,951	2.6	1,644	2.1	1,188	1.5	918	1.2
共 同 住 宅	27,970	37.4	29,896	38.5	30,453	39.0	32,078	40.4
1・2階建	9,009	12.1	9,445	12.2	9,266	11.9	9,974	12.6
3～5階建	15,582	20.8	16,013	20.6	15,481	19.8	15,698	19.8
6～10階建	2,705	3.6	3,158	4.1	3,822	4.9	4,257	5.4
11階建以上	674	0.9	1,280	1.6	1,884	2.4	2,149	2.7
そ の 他	224	0.3	82	0.1	163	0.2	188	0.2

3 産業・労働

●労働力人口

15歳以上人口の労働力状態をみると、15歳以上人口172,396人のうち、労働力人口(就業者及び完全失業者)は101,568人で、労働力率(15歳以上人口に占める労働力人口の割合)は、60.6%となっていて、男性の労働力率は低下傾向にあるが、女性の労働力率は上昇している。

第11表 労働力状態(15歳以上)

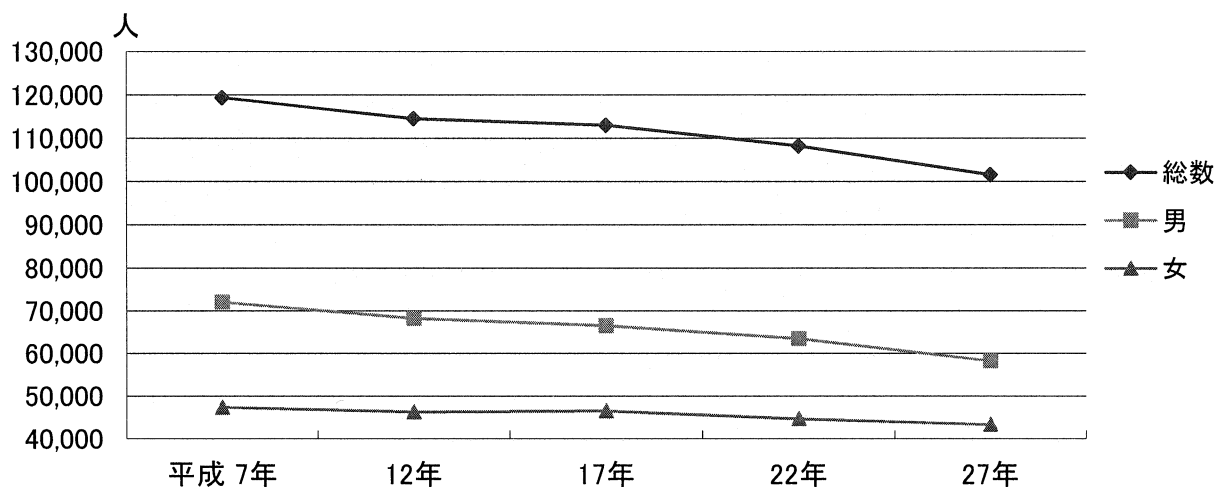
区分	男女	総数 1)	労働力人口							非労働力人口	労働力人口 「不詳」	構成比 2)		失業率 失業者 労働力人口
			総数	就業者					完全失業者			労働力人口	非労働力人口	
				総数	主に 仕事	家事の ほかに 仕事	通学 のかた わら 仕事	休業者						
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	%	%	%	
平成7年 ³⁾	総数	178,595	119,361	114,512	96,268	16,422	741	1,081	4,849	59,234	-	66.8	33.2	4.1
	男	88,234	71,995	68,833	67,310	392	458	673	3,162	16,239	-	81.6	18.4	4.4
	女	90,361	47,366	45,679	28,958	16,030	283	408	1,687	42,995	-	52.4	47.6	3.6
平成12年	総数	177,138	114,521	109,144	93,512	13,657	715	1,260	5,377	62,198	419	64.8	35.2	4.7
	男	87,021	68,173	64,635	63,024	461	401	749	3,538	18,569	279	78.6	21.4	5.2
	女	90,117	46,348	44,509	30,488	13,196	314	511	1,839	43,629	140	51.5	48.5	4.0
平成17年	総数	179,776	113,015	106,537	89,163	15,201	847	1,326	6,478	64,986	1,775	63.5	36.5	5.7
	男	87,904	66,507	62,223	60,395	643	442	743	4,284	20,112	1,285	76.8	23.2	6.4
	女	91,872	46,508	44,314	28,768	14,558	405	583	2,194	44,874	490	50.9	49.1	4.7
平成22年	総数	176,310	108,188	100,487	85,044	13,486	655	1,302	7,701	65,932	2,190	62.1	37.9	7.1
	男	85,913	63,460	58,144	56,387	695	319	743	5,316	21,229	1,224	74.9	25.1	8.4
	女	90,397	44,728	42,343	28,657	12,791	336	559	2,385	44,703	966	50.0	50.0	5.3
平成27年	総数	172,396	101,568	96,826	81,556	13,223	609	1,438	4,742	66,172	4,656	60.6	39.4	4.7
	男	84,000	58,222	55,110	53,270	829	259	752	3,112	23,211	2,567	71.5	28.5	5.3
	女	88,396	43,346	41,716	28,286	12,394	350	686	1,630	42,961	2,089	50.2	49.8	3.8

1)「不詳」を含む。

2)構成比は総数から「不詳」を除いて算出。

3)平成7年は全項目に「不詳」の値を含む。

第10図 労働力人口



年齢別男女別の労働力率を見ると、男性は35～39歳、女性は45～49歳がピークであった。男性は25歳～59歳まで安定して95%前後の労働力率を示すのに対し、女性は30～34歳にかけて一旦労働力率が落ちるが、35歳以降に再び上昇している。

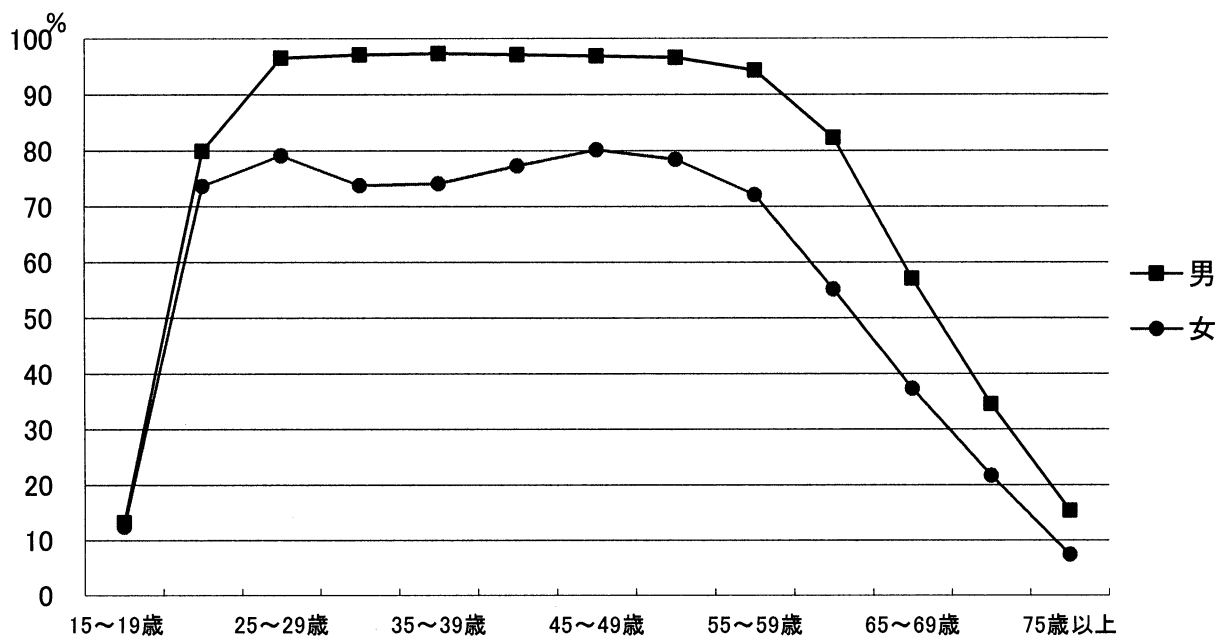
第12表 年齢別男女別労働力率

年齢	男			女		
	人口 1)	労働力人口	労働力率 2)	人口 1)	労働力人口	労働力率 2)
	人	人	%	人	人	%
15～19歳	4,478	572	13.3	4,124	494	12.5
20～24歳	3,685	2,767	79.9	3,511	2,444	73.7
25～29歳	4,961	4,512	96.6	4,074	3,087	79.1
30～34歳	5,253	4,819	97.2	4,709	3,351	73.8
35～39歳	6,095	5,683	97.4	5,721	4,103	74.1
40～44歳	7,768	7,289	97.1	7,341	5,499	77.3
45～49歳	7,283	6,810	96.9	6,829	5,316	80.2
50～54歳	6,574	6,157	96.6	6,508	5,004	78.4
55～59歳	6,282	5,804	94.3	6,165	4,376	72.1
60～64歳	6,940	5,612	82.3	7,019	3,823	55.2
65～69歳	7,862	4,425	57.1	8,310	3,064	37.4
70～74歳	6,470	2,201	34.6	7,264	1,555	21.7
75歳以上	10,349	1,571	15.4	16,821	1,230	7.4

1) 労働力状態「不詳」を含む。

2) 労働力率は「不詳」を除いて算出。

第11図 年齢別男女別労働力率



●夫婦の就業・非就業

夫婦のいる一般世帯(44,388世帯)のうち、夫婦の就業・非就業の別をみると、夫のみ就業している一般世帯は11,041世帯(前回比19%減)、妻のみ就業している世帯は2,070世帯(前回比3.4%減)、夫婦共に就業している世帯は21,114世帯(前回比1.1%減)、夫婦共に就業していない世帯は9,651世帯(前回比2.3%増)となっている。

第13表 夫婦の就業・非就業(夫婦のいる一般世帯のうち)

(単位:世帯)

区 分	夫婦のいる 一般世帯 1)	夫が就業者 2)			夫が非就業者 2)		
		妻が就業者	妻が非就業者		妻が就業者	妻が非就業者	
平成 17年	48,449	38,066	22,708	15,357	10,121	2,005	8,115
22年	46,847	35,030	21,355	13,639	11,589	2,142	9,433
27年	44,338	32,185	21,114	11,041	11,727	2,070	9,651

1) 夫及び妻の労働力「不詳」を含む。

2) 妻の労働力「不詳」を含む。

●産業

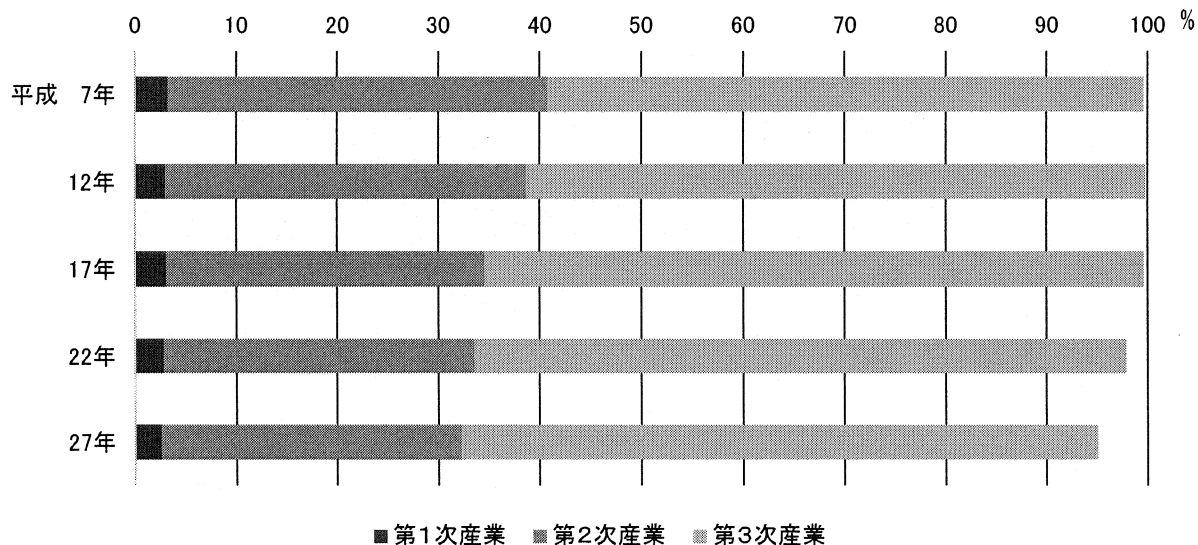
15歳以上の就業者を産業3部門にまとめ、その割合をみると、第1次産業2.6%、第2次産業29.7%、第3次産業62.8%となっていて、すべての産業部門で減少する傾向となっている。

第14表 産業別15歳以上就業者数

区 分	総 数 1)	第1次産業			第2次産業			第3次産業		
		就業者数	構成比	増加率	就業者数	構成比	増加率	就業者数	構成比	増加率
	人	人	%	%	人	%	%	人	%	%
平成 7年	114,512	3,778	3.3	△ 8.5	42,948	37.5	△ 5.1	67,321	58.8	5.9
12年	109,144	3,274	3.0	△13.3	38,915	35.7	△ 9.4	66,726	61.1	△ 0.9
17年	106,537	3,270	3.1	0.0	33,557	31.5	△13.8	69,273	65.0	3.8
22年	100,487	2,818	2.8	△13.8	30,943	30.8	△ 7.8	64,589	64.3	△ 6.8
27年	96,826	2,516	2.6	△10.7	28,739	29.7	△ 7.1	60,766	62.8	△ 5.9

1) 分類不能を含む。

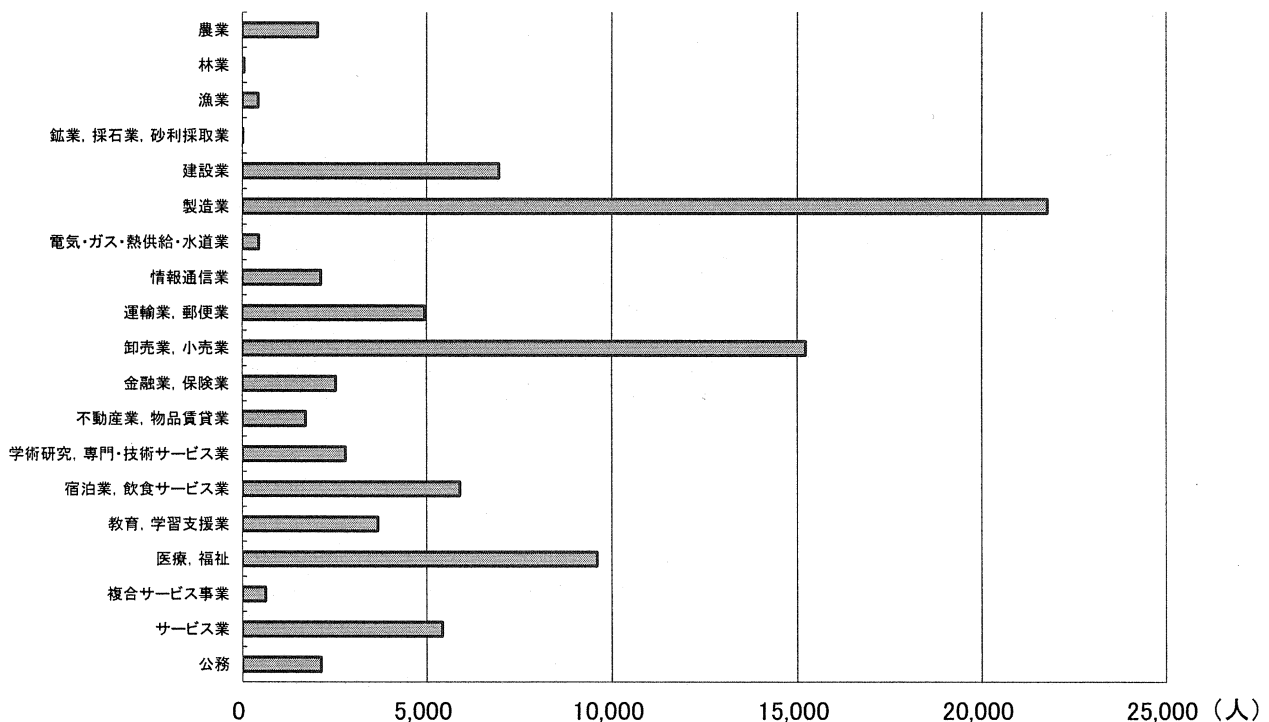
第12図 産業別15歳以上就業者構成比



第15表 産業別男女別就業人口

区 分	総 数		男		女	
	人 数	構 成 比	人 数	構 成 比	人 数	構 成 比
	人	%	人	%	人	%
総 数	96,826	100.0	55,110	100.0	41,716	100.0
第 1 次 産 業	2,516	2.6	1,627	3.0	889	2.1
農 業	2,039	2.1	1,192	2.2	847	2.0
林 業	48	0.0	42	0.1	6	0.0
漁 業	429	0.4	393	0.7	36	0.1
第 2 次 産 業	28,739	29.7	20,920	38.0	7,819	18.7
鉱業, 採石業, 砂利採取業	11	0.0	8	0.0	3	0.0
建 設 業	6,951	7.2	5,685	10.3	1,266	3.0
製 造 業	21,777	22.5	15,227	27.6	6,550	15.7
第 3 次 産 業	60,766	62.8	29,586	53.7	31,180	74.7
電気・ガス・熱供給・水道業	447	0.5	356	0.6	91	0.2
情 報 通 信 業	2,126	2.2	1,635	3.0	491	1.2
運 輸 業 , 郵 便 業	4,946	5.1	4,008	7.3	938	2.2
卸 売 業 , 小 売 業	15,227	15.7	7,229	13.1	7,998	19.2
金 融 業 , 保 険 業	2,534	2.6	1,105	2.0	1,429	3.4
不 動 産 業 , 物 品 賃 貸 業	1,719	1.8	946	1.7	773	1.9
学術研究, 専門・技術サービス業	2,798	2.9	1,774	3.2	1,024	2.5
宿 泊 業 , 飲 食 サ ー ビ ス 業	5,893	6.1	2,031	3.7	3,862	9.3
生活関連サービス業, 娯楽業	3,615	3.7	1,398	2.5	2,217	5.3
教 育 , 学 習 支 援 業	3,680	3.8	1,497	2.7	2,183	5.2
医 療 , 福 祉	9,606	9.9	2,402	4.4	7,204	17.3
複 合 サ ー ビ ス 事 業	629	0.6	380	0.7	249	0.6
サービス業(他に分類されないもの)	5,420	5.6	3,394	6.2	2,026	4.9
公務(他に分類されるものを除く)	2,126	2.2	1,431	2.6	695	1.7
分 類 不 能 の 産 業	4,805	5.0	2,977	5.4	1,828	4.4

第13図 産業別就業人口



4 通勤・通学

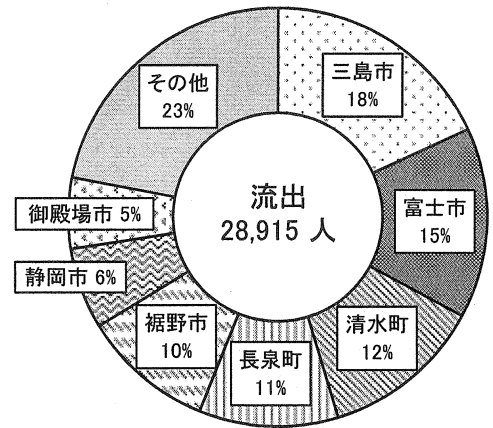
●昼間人口

本市に常住し、市内へ通勤する人は66,675人(68.9%)、通学する人は4,882人(58.9%)であった。
 15歳以上で本市から他市町村へ通勤・通学のために出て行く人(流出人口)は28,915人、15歳以上で他市町村から沼津市へ通勤・通学のために入ってくる人(流入人口)は42,216人となっている。
 平成22年に比べ、流出人口は127人(0.4%)減少、流入人口は1,499人(3.4%)減少した。

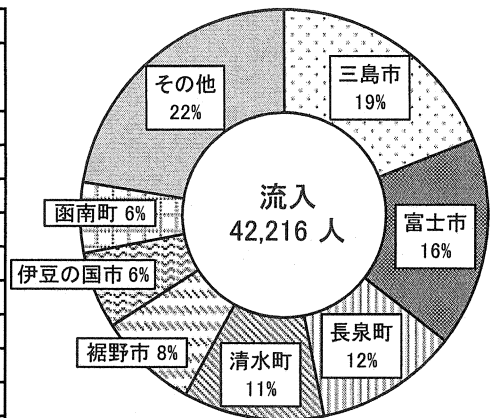
第16表 通勤・通学人口(15歳以上)

沼津市に住んでいる人	総数	通勤	通学
数 1)	人	人	人
総	105,115	96,826	8,289
沼津市内へ通勤・通学	71,557	66,675	4,882
県内他市町へ通勤・通学	26,003	23,728	2,275
三島市	5,154	4,271	883
富士市	4,328	4,128	200
清水町	3,447	3,248	199
長泉町	3,196	3,097	99
裾野市	2,789	2,693	96
静岡市	1,858	1,412	446
御殿場市	1,489	1,463	26
伊豆の国市	1,372	1,261	111
函南町	678	605	73
伊豆市	388	359	29
熱海市	357	335	22
その他	947	856	91
県外へ通勤・通学	2,912	2,086	826
東京都	1,282	913	369
神奈川県	1,128	799	329
愛知県	107	89	18
その他	395	285	110

第14図 流出・流入人口



沼津市で就業・就学している人	総数	通勤	通学
数 1)	人	人	人
総	118,416	107,416	11,000
沼津市内から通勤・通学	71,557	66,675	4,882
県内他市町から通勤・通学	40,595	34,933	5,662
三島市	8,055	7,206	849
富士市	6,758	6,090	668
長泉町	5,004	3,912	1,092
清水町	4,670	4,234	436
裾野市	3,282	2,640	642
伊豆の国市	2,595	2,385	210
函南町	2,423	2,224	199
御殿場市	1,973	1,446	527
静岡市	1,962	1,793	169
富士宮市	1,187	959	228
伊豆市	858	757	101
その他	1,828	1,287	541
県外から通勤・通学	1,621	1,471	150
神奈川県	883	770	113
東京都	228	224	4
愛知県	105	101	4
その他	405	376	29



第17表 昼・夜間人口

	夜間人口	昼間人口
	人	人
平成7年	212,241	233,714
12年	207,531	227,296
17年	208,000	225,199
22年	202,304	217,376
27年	195,633	209,378

1) 不詳を含む。